



平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月5日

上場取引所 東 札

上場会社名 雪印メグミルク株式会社

コード番号 2270 URL <http://www.megmilk-snowbrand.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高野瀬 忠明

問合せ先責任者 (役職名) 広報部長 (氏名) 小西 寛昭

TEL 03-3226-2124

四半期報告書提出予定日 平成22年11月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (報道機関、アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	259,503	—	8,716	—	9,621	—	6,014	—
22年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	88.12	—
22年3月期第2四半期	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	291,700	93,915	31.6	1,359.33
22年3月期	292,164	92,765	31.2	1,316.07

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 92,245百万円 22年3月期 91,100百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	—	—	25.00	25.00
23年3月期	—	—	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	25.00	25.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	510,000	29.6	15,500	21.9	16,500	10.7	10,000	8.0	147.36

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年3月期2Q 70,751,855株 22年3月期 70,751,855株

② 期末自己株式数 23年3月期2Q 2,890,896株 22年3月期 1,530,085株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年3月期2Q 68,250,456株 22年3月期2Q 一株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中でありませぬ。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 当社は平成21年10月1日に日本ミルクコミュニティ株式会社と雪印乳業株式会社が経営統合し、両社を完全子会社とする共同持株会社として設立されたため、前第2四半期連結実績はありません。

2. 業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. (参考) 前年対比数値参考資料	10

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景気の回復が足踏み状態であるうえ、厳しい雇用・所得環境が続いており、また、国内株価の低迷や円高の加速による景気の下押し懸念に加え、物価の動向は緩やかなデフレ状況にあるなど依然として楽観できる状況にはありません。

食品業界において、個人消費は低調に推移し、消費者の低価格志向や市場競争の激化など、厳しい事業環境が続いており、また、酪農乳業界においては、宮崎県で発生した口蹄疫や猛暑などの影響が一部に出ていることに加え、牛乳の生産および消費は低迷しております。

このような経営環境の中、当社は日本ミルクコミュニティ㈱と雪印乳業㈱の共同持株会社として2期目を迎え、「雪印メグミルクグループ中期経営計画（平成21年度～平成25年度）」の基本コンセプトである「シナジーの創出」と「イノベーションへの挑戦」の実現に、積極的に取り組んでまいりました。当期に新設しました「ミルクサイエンス研究所」では、総合乳業会社の研究所として研究開発力の充実を図るとともに、研究成果の発表を国内外問わず積極的に行いました。同じく「海外事業部」では新規事業領域への展開に向け、既存インフラの活用について検証してまいりました。日本ミルクコミュニティ㈱および雪印乳業㈱を中核事業会社とするグループ企業の事業運営を一体化し、同計画に掲げた、「乳飲料」「デザート」「ヨーグルト」「ナチュラルチーズ」の4つのカテゴリーにおける「カテゴリーNo.1戦略」を強力に推進するため、それぞれラインナップを強化するとともに、戦略的設備投資の着手などに注力してまいりました。

また、原料乳製品のプロダクトミックス改善や、調達・生産・物流のコスト改善等、当社グループとしての統合効果発揮への取り組みに努めました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は259,503百万円、営業利益は8,716百万円、経常利益は9,621百万円、四半期純利益は6,014百万円となりました。

セグメントごとの当第2四半期連結累計期間の業績は次のとおりです。なお、各セグメントごとの売上高の数値につきまは、セグメント間の内部売上高又は振替高の相殺消去前の数値を記載しております。

①乳製品事業

当事業には、乳製品（チーズ、バター、粉乳等）、油脂（マーガリン等）、育児品（乳幼児用粉乳等）等の製造・販売が含まれております。

乳製品部門では、「さけるチーズ」や「スライスチーズ」の販売が好調に推移しました。また、油脂部門は猛暑などの影響で低調でありました。

この結果、当事業における売上高は96,418百万円となりました。

②飲料・デザート類事業

当事業には、飲料（牛乳類、果汁飲料等）、ヨーグルト、デザート等の製造・販売が含まれております。

ヨーグルト部門では、主力の「ナチュラル恵」が牽引し、販売が堅調に推移しました。また、飲料部門では、市場全体で牛乳消費が落ち込んだものの、加工乳の販売が好調に推移し、果汁飲料では、「D o l e®100%ジュース」のラインナップ強化が大きく貢献しました。

この結果、当事業における売上高は133,361百万円となりました。

③飼料・種苗事業

当事業には、牛用飼料、牧草・飼料作物種子、野菜種子等の製造・販売が含まれております。

売上高は、配合飼料販売価格の低下及び天候不順による種子販売の低調等により、22,986百万円となりました。

④その他事業

当事業には、不動産賃貸、共同配送センター事業等が含まれております。売上高は20,831百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債および純資産の状況

(資産の部)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して463百万円の減少となりました。

これは主に、受取手形及び売掛金が増加した一方で、たな卸資産や繰延税金資産が減少したことなどによりです。

(負債の部)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末と比較して1,613百万円の減少となりました。これは主に、支払手形及び買掛金や長期借入金が増加した一方で、短期借入金が増加したことなどによります。

(純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して1,149百万円の増加となりました。これは主に、自己株式を取得した一方で、利益剰余金が増加したことなどによります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、7,326百万円となりました。当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの原因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、14,645百万円の収入となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が8,762百万円となったこと、たな卸資産の減少によるキャッシュ・フローの増加が3,181百万円となったこと、仕入債務の増加によるキャッシュ・フローの増加が2,384百万円となったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、7,300百万円の支出となりました。これは主に、有形及び無形固定資産の取得によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、8,413百万円の支出となりました。これは主に、長期借入金の返済により14,720百万円を支出したこと、短期借入金の増加により5,912百万円の収入となったことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年5月12日の決算短信で公表した業績予想値に変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期連結会計期間末の連結子会社の貸倒実績率等は前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、連結子会社の前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

②固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

③法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等に著しい変化が生じておらず、かつ、一時差異等の発生状況に大幅な変動がないと認められるため、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(会計処理基準に関する事項の変更)

資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、当第2四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益は9百万円、税金等調整前四半期純利益は429百万円減少しております。

また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は545百万円であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,168	9,130
受取手形及び売掛金	63,922	57,729
有価証券	249	349
商品及び製品	25,982	27,613
仕掛品	1,109	752
原材料及び貯蔵品	7,401	9,309
繰延税金資産	6,546	6,883
その他	8,887	7,797
貸倒引当金	△600	△546
流動資産合計	121,668	119,019
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	29,364	29,409
機械装置及び運搬具（純額）	34,274	34,592
土地	65,192	65,193
その他（純額）	5,348	4,401
有形固定資産合計	134,179	133,597
無形固定資産		
のれん	5,550	6,244
その他	4,660	5,073
無形固定資産合計	10,211	11,317
投資その他の資産		
投資有価証券	15,860	16,390
繰延税金資産	5,421	6,864
その他	5,686	6,379
貸倒引当金	△1,325	△1,405
投資その他の資産合計	25,641	28,229
固定資産合計	170,032	173,144
資産合計	291,700	292,164

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	54,100	51,836
短期借入金	35,922	41,623
未払法人税等	1,177	1,052
賞与引当金	3,994	3,713
資産除去債務	260	—
その他	22,286	22,338
流動負債合計	117,741	120,565
固定負債		
長期借入金	46,046	44,154
繰延税金負債	2,524	2,877
再評価に係る繰延税金負債	10,171	10,171
退職給付引当金	10,234	9,874
役員退職慰労引当金	299	277
ギフト券引換引当金	250	257
資産除去債務	336	—
負ののれん	2,328	2,833
その他	7,850	8,386
固定負債合計	80,043	78,833
負債合計	197,784	199,398
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,000	20,000
資本剰余金	17,580	17,580
利益剰余金	44,411	40,127
自己株式	△4,516	△2,385
株主資本合計	77,476	75,323
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△79	444
繰延ヘッジ損益	△63	153
土地再評価差額金	15,103	15,103
為替換算調整勘定	△191	76
評価・換算差額等合計	14,769	15,777
少数株主持分	1,670	1,664
純資産合計	93,915	92,765
負債純資産合計	291,700	292,164

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
売上高	259,503
売上原価	189,758
売上総利益	69,744
販売費及び一般管理費	61,028
営業利益	8,716
営業外収益	
受取利息	22
受取配当金	333
負ののれん償却額	504
持分法による投資利益	225
その他	732
営業外収益合計	1,819
営業外費用	
支払利息	687
その他	225
営業外費用合計	913
経常利益	9,621
特別利益	
固定資産売却益	3
貸倒引当金戻入額	26
受取補償金	13
その他	21
特別利益合計	65
特別損失	
固定資産売却損	1
固定資産除却損	329
減損損失	40
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	419
その他	133
特別損失合計	924
税金等調整前四半期純利益	8,762
法人税等	2,736
少数株主損益調整前四半期純利益	6,026
少数株主利益	12
四半期純利益	6,014

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第2四半期連結累計期間
 (自 平成22年4月1日
 至 平成22年9月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	8,762
減価償却費	5,952
減損損失	40
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	419
持分法による投資損益(△は益)	△225
のれん償却額	693
負ののれん償却額	△504
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△25
賞与引当金の増減額(△は減少)	281
退職給付引当金の増減額(△は減少)	360
ギフト券引換引当金の増減額(△は減少)	△7
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	21
固定資産除売却損益(△は益)	327
受取利息及び受取配当金	△355
支払利息	687
売上債権の増減額(△は増加)	△6,192
たな卸資産の増減額(△は増加)	3,181
仕入債務の増減額(△は減少)	2,384
その他	198
小計	15,997
利息及び配当金の受取額	480
利息の支払額	△665
法人税等の支払額	△1,166
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,645
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△204
有価証券の償還による収入	100
貸付けによる支出	△826
貸付金の回収による収入	1,104
有形及び無形固定資産の取得による支出	△7,477
有形及び無形固定資産の売却による収入	15
投資有価証券の取得による支出	△13
投資有価証券の売却による収入	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,300
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	5,912
長期借入れによる収入	5,000
長期借入金の返済による支出	△14,720
自己株式の取得による支出	△2,131
配当金の支払額	△1,732
少数株主への配当金の支払額	△2
その他	△739
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,413
現金及び現金同等物に係る換算差額	△63
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,132
現金及び現金同等物の期首残高	8,458
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,326

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

① 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、主たる事業として、乳（ミルク）等を使用した製品の製造・販売及び牛用飼料、牧草・飼料作物種子等の製造・販売を行っており、チーズ・バター等の「乳製品」については主に雪印乳業株式が、牛乳・ヨーグルト等の「飲料・デザート類」については主に日本ミルクコミュニティ株式が、「飼料・種苗」については主に雪印種苗株式が行っております。

したがって、当社グループは、製品別のセグメントから構成されており、「乳製品」、「飲料・デザート類」及び「飼料・種苗」の3つを報告セグメントとしております。

② 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 4
	乳製品	飲料・ デザート類 (注) 1	飼料・種苗	計				
売上高								
外部顧客への売上高	88,549	133,257	22,560	244,367	15,135	259,503	—	259,503
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7,869	103	426	8,399	5,696	14,095	(14,095)	—
計	96,418	133,361	22,986	252,767	20,831	273,599	(14,095)	259,503
セグメント利益	4,979	1,496	1,089	7,565	1,036	8,602	113	8,716

(注) 1. 前連結会計年度において「乳飲料」という名称を使用していましたセグメントにつきましては、当連結会計年度より、セグメントの内容をより具体的に表すために「飲料・デザート類」に名称を変更しております。

2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業及び共同配送センター事業等が含まれております。

3. セグメント利益の調整額 113百万円は、セグメント間の取引消去金額であります。

4. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成22年5月25日開催の取締役会における自己株式の取得決議に基づき、平成22年5月31日付で自己株式の取得を行いました。この取得などにより、当第2四半期連結累計期間において自己株式が2,131百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が△4,516百万円となっております。

4. (参考) 前年対比数値参考資料

(1) 開示ベース：前年度 雪印乳業株式会社連結との比較

	平成22年3月期 第2四半期累計	平成23年3月期 第2四半期累計
雪印乳業株式会社(連結)	○	○
日本ミルクコミュニティ株式会社(連結)	×	○

- (注) 1. 前年度(22年3月期第2四半期)は雪印乳業株式会社連結の数値を表示しておりますのでご留意下さい。
 なお、前年度との比較を容易にするために、前年度期首に経営統合を実施していたと仮定した場合の数値を、後掲(4)に掲載しております。
2. 連結子会社である雪印種苗株式会社、(有)ロイヤルファームおよび道東飼料株式会社は前期に決算期を変更しております。そのため連結財務諸表に取込んだ期間が前年度と今年度では以下のとおり相違しております。
 (前年度) 決算期：6月 連結対象期間：平成21年1月～平成21年6月
 (今年度) 決算期：3月 連結対象期間：平成22年4月～平成22年9月
 後掲(4)に記載している前年度の数値は、上記の会計期間の相違も修正して表示しております。

①当期の連結経営成績

(単位：億円)

	平成22年3月期 第2四半期累計		平成23年3月期 第2四半期累計		増減金額	
	実績	売上比	実績	売上比	実績	前期比
売上高	1,405	(100.0%)	2,595	(100.0%)	1,189	(184.6%)
営業利益	58	(4.2%)	87	(3.4%)	28	(148.8%)
経常利益	71	(5.1%)	96	(3.7%)	24	(134.3%)
四半期純利益	53	(3.8%)	60	(2.3%)	6	(112.1%)

②当期のセグメント別実績

(単位：億円)

	平成22年 3月期 第2Q 累計	平成23年 3月期 第2Q 累計	セグメント別の主な取扱商品類
営業利益	46		飼料・種苗：牛用飼料、牧草・飼料作物種子、野菜種子 他 その他：不動産賃貸、共同配送センター事業 他
売上高		964	乳製品：乳製品(チーズ、バター、粉乳等) 油脂(マーガリン等)、育児品(乳幼児用粉乳等) 他
営業利益		49	飲料・デザート類：飲料(牛乳類、果汁飲料等)、ヨーグルト デザート 他
売上高		1,333	飼料・種苗：牛用飼料、牧草・飼料作物種子、野菜種子 他 その他：不動産賃貸、共同配送センター事業 他
営業利益		14	
売上高		229	
営業利益		10	
売上高		208	
営業利益		10	

- (注) 1. セグメント別の売上高にはセグメント間の内部売上高を含んでおります。

③設備投資額(有形固定資産)及び減価償却費 (単位：億円)

	設備投資額	減価償却費
前第2四半期連結累計期間	18	29
当第2四半期連結累計期間	55	59

④研究開発費 (単位：億円)

前第2四半期連結累計期間	12
当第2四半期連結累計期間	15

⑤従業員数

前第2四半期連結累計期間	2,729名
当第2四半期連結累計期間	5,085名

⑥経営数値

(単位：%)

	自己資本 比率	連結売上高 営業利益率	連結ROA (対経常利益)	EBITDA マージン
前第2四半期連結累計期間	35.9	4.2	3.5	6.3
当第2四半期連結累計期間	31.6	3.4	3.3	5.7

(単位：億円)

	総資産	自己資本	有利子負債
前第2四半期連結累計期間	2,036	730	654
当第2四半期連結累計期間	2,917	922	852

(2) 開示ベース：平成23年3月期連結業績予想との比較

①連結経営成績

(単位：億円)

	平成23年3月期第2四半期累計				増減金額	
	業績予想		実績		増減	開示比
	予想	売上比	実績	売上比		
売上高	2,600	(100.0%)	2,595	(100.0%)	△4	(99.8%)
営業利益	80	(3.1%)	87	(3.4%)	7	(109.0%)
経常利益	85	(3.3%)	96	(3.7%)	11	(113.2%)
四半期純利益	55	(2.1%)	60	(2.3%)	5	(109.4%)

②セグメント別実績

(単位：億円)

	平成23年3月期第2四半期累計		増減金額	
	業績予想	実績	増減	予想比
[売上高]				
乳製品	938	964	26	102.8%
飲料・デザート類	1,361	1,333	△27	98.0%
飼料・種苗	236	229	△6	97.4%
その他	203	208	4	102.3%

(注) 1. セグメント別の主な取扱商品類

乳製品：乳製品（チーズ、バター、粉乳等）、油脂（マーガリン等）、育児品（乳幼児用粉乳等） 他

飲料・デザート類：飲料（牛乳類、果汁飲料等）、ヨーグルト、デザート 他

飼料・種苗：牛用飼料、牧草・飼料作物種子、野菜種子 他

その他：不動産賃貸、共同配送センター事業 他

2. セグメント別の売上高にはセグメント間の内部売上高を含んでおります。

(3) 業績予想

①連結業績予想

(単位：億円)

	平成23年3月期	
	通期	
	予想	前期比
売上高	5,100	103.0%
営業利益	155	108.8%
経常利益	165	103.0%
当期純利益	100	105.5%

(注) 1. 平成22年5月12日決算短信発表時に公表したのから変更はありません。

2. 前期比は平成22年5月12日発表決算短信における参考資料として記載しました、平成21年4月に経営統合を実施したと仮定した場合の平成22年3月期実績に基づいて算出しております。

②セグメント別売上予想

(単位：億円)

	平成23年3月期	
	通期	
	予想	前期比
乳製品	1,932	103.4%
飲料・デザート類	2,598	105.0%
飼料・種苗	443	100.2%
その他	398	98.6%

(注) 1. セグメント間の内部売上高を含んでおります。

2. 平成22年5月12日決算短信発表時に公表したのから変更はありません。

3. 前期比は平成22年5月12日発表決算短信における参考資料として記載しました、平成21年4月に経営統合を実施したと仮定した場合の平成22年3月期実績に基づいて算出しております。

(4) 【参考】通期連結ベース：前年同期比較を容易にするために、前年度期首に経営統合を実施したと仮定した場合の参考数値

	平成22年3月期 第2四半期累計	平成23年3月期 第2四半期累計
雪印乳業株式会社(連結)	○	○
日本ミルクコミュニティ株式会社(連結)	○	○

①連結経営成績(平成22年3月期実績はレビュー対象外) (単位：億円)

	平成22年3月期 第2四半期累計		平成23年3月期 第2四半期累計		増減金額	
	実績	売上比	実績	売上比	実績	前期比
売上高	2,537	(100.0%)	2,595	(100.0%)	57	(102.3%)
売上原価	1,852	(73.0%)	1,897	(73.1%)	44	(102.4%)
販売費及び一般管理費	609	(24.0%)	610	(23.5%)	1	(100.2%)
営業利益	75	(3.0%)	87	(3.4%)	11	(115.9%)
営業外収益	19	(0.8%)	18	(0.7%)	△1	(91.3%)
営業外費用	10	(0.4%)	9	(0.4%)	△0	(91.0%)
経常利益	85	(3.4%)	96	(3.7%)	11	(113.1%)
特別利益	2	(0.1%)	0	(0.0%)	△2	(23.8%)
特別損失	8	(0.3%)	9	(0.4%)	0	(110.0%)
法人税等	22	(0.9%)	27	(1.1%)	5	(123.0%)
少数株主損益	0	(0.0%)	0	(0.0%)	△0	(99.3%)
四半期純利益	57	(2.2%)	60	(2.3%)	3	(105.4%)

- (注) 1. 昨年10月30日に公表いたしました「平成22年3月期第2四半期決算数値参考資料」では、前年度上期実績について売上高2,532億円、営業利益80億円としておりました。今回、前年度との比較を容易にするため、前期に決算期を変更した連結子会社の業績およびのれんの償却額を修正し、上記数値に変更しております。
2. 平成22年3月期実績はレビュー対象外の数値であり下線を付しております。

②セグメント別実績(平成22年3月期実績はレビュー対象外) (単位：億円)

	平成22年3月期 第2四半期累計	平成23年3月期 第2四半期累計	増減金額	
	実績	実績	実績	前期比
[売上高]				
乳製品	921	964	42	104.6%
飲料・デザート類	1,274	1,333	58	104.6%
飼料・種苗	232	229	△2	98.8%
その他	207	208	0	100.3%
[営業利益]				
乳製品	45	49	4	109.4%
飲料・デザート類	12	14	2	118.1%
飼料・種苗	9	10	1	114.4%
その他	6	10	3	159.9%

- (注) 1. セグメント別の主な取扱商品類
 乳製品：乳製品（チーズ、バター、粉乳等）、油脂（マーガリン等）、育児品（乳幼児用粉乳等） 他
 飲料・デザート類：飲料（牛乳類、果汁飲料等）、ヨーグルト、デザート 他
 飼料・種苗：牛用飼料、牧草・飼料作物種子、野菜種子 他
 その他：不動産賃貸、共同配送センター事業 他
2. セグメント別の売上高にはセグメント間の内部売上高を含んでおります。
3. 前年比較を容易にするため、前期に決算期を変更した連結子会社の業績を修正しております。
4. 平成22年3月期実績はレビュー対象外の数値であり下線を付しております。

③営業利益の前年増減分析

平成22年度 第2四半期 連結営業利益の増減要因



